

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成30年度】

3 妊婦健康診査事業

事業概要	妊婦の健康の保持増進及び経済的負担の軽減のために、国の妊婦健康診査の基準に基づく妊婦健康診査を医療機関において実施し、その費用を公費負担する事業（検査項目①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導、④妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査）
事業目的 （目指すべき目標）	出産費用の軽減及び安心して出産できる環境整備を図るとともに、妊娠期を安全に経過できるよう、妊婦及び胎児の状態を確認し、異常の早期発見に資するものである。
実施内容 （具体的な実施方法・手段）	医療機関で受診する一般健康診査14回分及び超音波検査6回分の受診票を母子手帳交付時に配布し助成する。

事業費(円)		平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成30年度 決算	平成31年度 予算
	事業費	47,891,950	40,365,778	39,448,036	40,886,763	39,181,037	38,274,281
特定 財 源	国庫支出金					0	0
	道支出金					0	0
	その他					0	0
	一般財源	47,891,950	40,365,778	39,448,036	40,886,763	39,181,037	38,274,281

活動指標(A) （目的を達成するために実施した事業量を数値で表示）	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	母子手帳交付件数	部	574	555	546	480	535
【特記事項】							

成果指標(B) （目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示）	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	1人当たりの受診件数	回	12	11	11	12	12
【特記事項】		必ずしも対象者全てが、14回健診を受けるとは限らない(転出や早産など)ため、受診回数が14を下回る。					

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保 方針、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:延べ健診回数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
★事業計画策定済み★	需要量の見込み(人)	672	661	649	579	573
	健診回数(回)	7,728	7,602	7,464	6,659	6,590
	確保方針	実施場所:医療機関 検査項目:国の基準				
	実績	対象者数(人)	574	555	546	480
健診回数(回)		6,931	6,075	6,030	5,653	

【事業評価】 A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。					
事業実施者による事業評価		A	A	A	A
小樽市子ども・子育て会議における事業評価		A	A	A	A

<確保方針> 事業計画から抜粋	妊婦の健康管理の向上並びに妊娠中の異常の早期発見及び適切な指導、処置等のため、妊婦一般健康診査14回分と超音波検査6回分を公費負担としており、今後も、本事業を継続し、安心して健やかな妊娠・出産を支援します。
--------------------	---

◆平成30年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)
 需要量見込みに対する実績は出生数の減少に伴い、対象者数、健診回数ともに減少しているが、健診の周知に努めた結果、活動指標は出生数に左右されるため下がったものの成果指標は見込どおりであり、概ね達成されたと考える。今後も周知に努めるなどして受診数向上のために引き続き取り組む。

◆平成31年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)
 平成30年度の事業を引き続き実施し、受診数向上のため妊婦との面談の機会を利用して妊婦健診の周知に努めていくとともに、国、道及び他の自治体の動向を踏まえて対応していく。